

# 新着案内 らい★ぶらい

～ 本のほんのいちぶ ～

大阪信愛学院図書館 No. 354(2019. 10. 25. 発行)



## 購入希望の締切が決まりました

今年度の購入希望は **11月16日(土)で締切**になります。

- ・ 先着順になります。
- ・ 希望が多ければ優先順位をつけていただきます。
- ・ 一般流通していないもの(〇〇限定や同人誌など)やシングルCD・DVD付CD、DVD、雑誌などは購入希望できません。

締切日を過ぎると、来年4月以降の受付となります。



## 読書週間 10/27～11/9



図書館の本は外の風にあたりたいはず。みなさんが借りてくれないと外に出られません。貸出手続きをして、せっせと連れ出してあげてください。せっかく借りたけど「面白くない」「私に合わないわ」と思えば、無理に読もうとせず、ちゃっちゃと返して別の本を探せばいい。図書館ならそれができます。



## こんな本が入りました



- ◇ 著者の後ろの( )内の数字とカタカナは請求記号というもので、本の背中に付いているラベルです。このラベルの順に並んでいます。
- ◇ 書名の前の☆は購入希望、\*は先生からの購入希望です。

ここで紹介できるのは、入ってきた中のほんの一部です。ほかに入ってきた本も見に来てくださいね!

新着図書は1週間展示し、月曜日に入れ替えています。展示中の本は予約してください。

### ☆ 小説類(3階) ☆

『落花狼藉』 朝井まかて著 (913.6||アサ)



家康亡き後の幕府から勝ち得た、売色の公許。町を率いる遊女屋の女将は、さらなる闘いに挑む。

『むらさきのスカートの女』

今村夏子著 (913.6||イマ)

近所に住む「むらさきのスカートの女」と呼ばれる女性のことが、気になって仕方ない<わたし>は、彼女と「ともだち」になるために、自分と同じ職場で働きだすよう誘導し、その生活を観察し続ける。

『地図を広げて』 岩瀬成子著 (913.6||イワ)

お父さんと鈴の二人暮らしのマンションに、四年ぶりに一緒に暮らすことになった弟の圭がやってくる。たがいを思いながら、手探りでつくる新しい家族の日々



『渦：妹背山婦女庭訓魂結び』

大島真寿美著 (913.6||オオ)

浄瑠璃作者・近松半二の生涯を描いた比類なき名作。虚実の渦を作り出したもう一人の近松がいた。



『女の偏差値』

林真理子著 (914.6||ハヤ)

上を目指して、常に努力を続ける。それが美女の生きる道。

『希望の糸』 東野圭吾著 (913.6||ヒガ)

ある殺人事件で絡み合う、容疑者そして若き刑事の苦悩

☆ 『夏の騎士』 百田尚樹著 (913.6||ヒヤ)

昭和最後の夏、ぼくは仲の良い友人2人と騎士団を結成する。待ち受けていたのは、謎をめぐる冒険、友情、そして小さな恋。

『百の夜は跳ねて』 古市憲寿著 (913.6||フル)

高度200メートル。僕はビルの窓を歩く。光溢れる都市の秘密を記録しながら。



『落日』 湊かなえ著 (913.6||ミナ)

新人脚本家は15年前に起きた、判決も確定している事件を手がけたいという。“真実”とは“救い”とは、そして“表現する”ということは。絶望の深淵を見た人々の祈りと再生の物語。

『手のひらの楽園』 宮木あや子著 (913.6||ミヤ)

職業に関わる学科がそろった「仕事を学ぶための高校」でエステティシャンを目指す友麻。彼女の毎日は、なんだかとっても波乱万丈。

『世界を救う100歳老人』

ヨナス・ヨナソン著 (949.8||ヨ)

ドタバタ歴史改変小説『窓から逃げた100歳老人』続編、笑撃の再上陸



☆ 文庫(3階) ☆



『天気の子』 新海誠著  
『社内保育士はじめました②』 貴水玲著

『バチカン奇跡調査官 アダム誘惑』 藤木凜著

『あやかしお宿に帰りましょう。』 友麻碧著

『あきない世傳金と銀⑦』 高田郁著

東野圭吾著  
『卒業』 『私が彼を殺した』

『どちらかが彼女を殺した』

『アニメーション、折りにふれて』 高畑勲著 (778.77|タ)

『こんな時英語でなんて言う?』 テイビッド・セイン著 文庫 (837.8|セ)

☆ 小説類以外(3・4・5階) ☆



『相手は変えられない ならば自分  
が変わればいい』 ラス・ハリス著 (146.8|ハ)  
「間違ってるのはそっち！」と繰り返しても何も解決しない。

『孤独の夜に』 しみずたいき著 (159|シ)  
寝る前に読みたい、心を癒す処方箋

『毎日を好きなことだけで埋めていく』 本田晃一著 (159|ホ)  
人生やりたい放題の秘密がこの一冊に。

『人は、なぜ、歎異抄に魅了されるのか』 伊藤健太郎著 (188.7|イ)  
『歎異抄』の魅力を語りつくす

『人生最期のことば』 Terry Breverton 著 (280|ブ)  
時代を画した 83 人の人生最期のことばを臨終の様子とともに紹介します。

『そのうちなんとかなるだろう』 内田樹著 (289.1|ウ)  
やりたいことは諦めない、やりたくないことは我慢しない。たどり着く場所は、結局同じだから。

『なんでもやってみようとして生きてきたダウン症がある僕が伝えたいこと』 南正一郎著 (289.1|ミ)  
ダウン症とうまく付き合っている 46 歳の思いを綴った半生記

『平和のバトン』 弓狩匡純著 (319.8|ユ)  
広島の高校生たちが描いた 8 月 6 日の記憶

『奈良監獄物語：若かった明治日本が夢見たもの』 寮美千子文：磯良一絵 (326.52|リ)  
人生を再出発するための希望の場所として設計された旧奈良監獄 109 年の歴史を描く

『まんがでわかるヒトは「いじめ」をやめられない』 中野信子監修 (361.4|カ)  
きれいごとでは解決しない！



『あなたは何で食べてますか?』 有北雅彦著 (366.29|ア)  
「たまたま」は仕事のはじまり。動機は不純でかまわない。

『わたしは女の子だから：世界を変える夢をあきらめない子どもたち』 ローズマリー・マカーニ、ジェン・オールバー、国際 NGO プラン・インターナショナル文 (367.6|マ)  
貧困、紛争、性差別・・・そんな現実を変えるためにできることって、なんだろう？

\*『看取り犬・文福の奇跡』 若山三千彦著 (369.26|ワ)  
最高の幸せは、犬・猫とともに

『「死ぬんじゃねーぞ!!」：いじめられている君はゼツタイ悪くない』 中川翔子著 (371.4|ナ)  
学校に行くのがつらい、そんな夜に読んでほしい。



『大学進学のための”返さなくてよい”奨学金ガイド』 給付型奨学金研究会編 (373.4|ダ)

『大阪芸大』 向井康介著 (377.28|ム)  
沼なのか大学なのか。ナニワのサブカル・エリート養成所それが大阪芸術大学

『おならのサイエンス』 ステファン・ゲイツ著 (491.346|ゲ)  
おならに関するあらゆる疑問に科学と雑学で迫る、一冊まるごとおならの本



『40℃超えの日本列島でヒトは生きていけるのか』 永島計著 (491.361|ナ)  
体温調節のしくみがわかれば暑さ対策もわかる

『転校生はかがくぶっつかびんしょう』 武濤洋さく (493.14|タ)  
優しい人になっていただけませんか。



『看護師でいられて本当に幸せ』 中島美津子著 (498.14|ナ)  
「患者」になって再確認

『マイクロカプセル香害』 古庄弘枝著 (498.4|コ)  
柔軟剤・消臭剤による痛みと哀しみ

『主婦力ゼロからのやってみた家事』 マルサイ著 (590|マ)  
「作り置き」「エコ掃除」など流行り家事、片端からやってみました。

『京都・大阪・神戸の喫茶店』 川口葉子著 (596.7|カ)  
歴史と文化の京、味も個性も濃い阪、異国の香り漂う神、浮かび上がる三都の個性



☆ 『SIREN MANIACS サイレン公式完全解析本』 (798|サ)  
今明かされる「サイレン」の全貌

☆ マンガ(3階) ☆

\* 『宗像教授の異考録①～⑮』 星野之宣著  
『漫画人はなんで生きるか』 トルストイ作；石川森彦画



『大家さんと僕これから』 矢部太郎著  
『マリアージュ⑱』 亜樹直作；オキモト・シュウ画